

沖 縄 タ イ ム ス

2012年(平成24年)12月21日 金曜日

# 「グスク」が事業停止

うるま市の県賃貸工場入居企業・カバン製造

## 賃金未払い 全従業員退職

うるま市にある県の賃貸工場入居企業で、カバン製造の「Gusque(グスク)」（譜久島悟社長）が従業員への賃金未払いなどが続き事業を停止していることが20日、分かった。設立時に採用した約20人の従業員は給与支払いの遅

れなどから減り続け、今月までに全員が退職した。工場の賃貸料（月額75万円）も数カ月間滞納。県は12月から工場の使用許可を出しておらず、事業継続は厳しい見通しとなった。

同社は2011年5月に旧

特別自由貿易地域に設立。沖縄初のカバン製造会社として、受注からデザイン、裁断、縫製などのすべてを自社で手掛ける工場を稼働していた。うるま市の11年度地域人材育成事業で約4500万円の助成金を受け、縫製技術者を育

成。OEM事業（相手先ブランド製造）のほかに、石垣牛や宮古牛の皮革開発も手掛け、県産素材を使った新たな製品開発で評価を得ていたものの、生産計画が追いつかず売り上げを立てることができなかった。

元従業員によると賃金未払いの対象者は約20人で、金額は多い人で約50万円。経営者と連絡がつかない状態で、労働基準監督署は相談者に対し、雇用保険の立て替え払い制度の申請を案内しているという。